

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件 名 那覇空港第1RX局舎外1棟改修工事

開 札 年 月 日 令和6年10月25日 （落札決定日 令和6年11月28日 ）

入 札 執 行 官 署 大阪航空局

落 札 金 額 ￥ 76,780,000 -

落 札 者 株式会社イズミクス

予 定 価 格 ￥ 93,676,000 -

積 算 額 ￥ 93,676,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥ 85,160,000 -

調 査 基 準 価 格 ￥ 86,181,920 - 調 査 基 準 価 格 の 100/110 ￥ 78,347,200 -

基 準 評 価 値 117.426

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評 価 点 (満点152点)	第 1 回入札			第 2 回入札			摘 要
		入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	
株式会社イズミクス	120.0	69,800,000	171.919	○				落札
有限会社仲村組	119.5	76,200,000	156.824	○				
株式会社郷建設	—	86,640,000	—	-				
株式会社建真	—	辞退	—	-				
株式会社新建	—	辞退	—	-				

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。
※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
※本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和6年11月28日に落札者を決定した。

総合評価落札方式評価点内訳(施工能力評価型(Ⅱ型))

件名:那覇空港第1RX局舎外1棟改修工事

[illegible]

低入札価格調査の実施概要（建設工事）

件 名：那覇空港第1RX局舎外1棟改修工事

発注機関名：大阪航空局

調査対象業者：株式会社イズミクス

項 目	内 容
(1) その価格により入札した理由	直接工事費について、長年取引実績のある下請業者からの見積価格を元に計上されている。 また、共通費については、本工事において必要な経費は計上されており、現場近くに支店があることから、経費の削減が図られている。なお、一般管理費が大幅に低減されているのは、元請業者としての施工実績を取得したい考えから受注意欲の強い表れであることをヒアリングにより確認した。
(2) 契約対象工事付近における手持工事の状況	契約対象工事付近における手持工事なし。
(3) 契約対象工事に関連する手持工事の状況	配置を予定している 現場代理人 兼 主任技術者 の手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事はないことから、技術者の配置に問題はないものと思料される。
(4) 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	調査対象者の事務所は工事現場から8.4km程の距離に位置しており、また主任技術者（現場代理人）は工事箇所近隣の宿泊施設に泊まり込み業務にあたることから、緊急時の現場管理等の対応が適切に取られることをヒアリングにより確認した。

(5) 手持資材の状況	手持資材はないが、下請業者及びリースにて調達予定であることをヒアリングにより確認した。
(6) 資材購入先及び購入先と入札者との関係	資材購入については、長年取引のある下請業者にて調達する予定であることをヒアリングにより確認した。
(7) 手持機械数の状況	当該工事において使用する機材については、取引実績のある下請業者にて手配する予定であることをヒアリングにより確認した。
(8) 労務者の具体的供給見通し	各工種別に労務者を確保し、適切に配置する予定であることを確認した。
(9) 過去に施工した公共工事名及び発注者	過去に施工した公共工事を確認したところ、過去5年間（平成31年4月1日以降に完成・引渡しが完了した工事）において、建築工事として国4件、地方公共団体などの公共法人6件の施工実績があり、国発注工事の工事成績評価は平均73.0点であり、概ね適切な施工が行われているものと思料される。 また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事が4件（国1件、公共法人3件）あったものの、発注者へのヒアリングにより特に問題なく施工が完了していることが確認できた。
(10) 経営内容	調査対象者の経営内容は、直近の財務諸表等の報告書から、健全な経営が行われていると判断する。

(11) (1)から(10)までの事情聴取した結果についての調査検討		入札価格は、当局積算価格と比して乖離はあるものの、直接工事費については、長年取引実績のある下請業者からの見積価格を元に計上されており、下請け業者においても、那覇空港内での施工経験があり、特別価格を引き下げたものではなく、これまでの同種工事の施工実績に基づく見積価格であることから、問題はないと思料される。また、共通費については、必要な経費は計上されており、現場近くに支店があること、元請としての実績を取得したいという受注意欲の強い表れにより経費の低減が図られている。以上のことから、入札した価格で本工事の内容に適合した履行がなされないおそれがあるとは認められなかった。
(12) (9)の公共工事の成績状況		過去に施工した公共工事は適切に行われており、工事の品質については問題はないと判断する。
(13) 経営状況		問題なし。
(14) 信用状況	法令違反の有無	無
	賃金不払いの状況	無
	下請代金の支払遅延状況等	無
(15) その他の必要な事項		無